

4. めざす将来像と推進体制 13

- (1) めざす将来像
- (2) めざす将来像実現への推進体制
- (3) まちづくりのキャッチフレーズ

5. 行政の基本姿勢 15

- (1) 地域や島びとが主役となったまちづくりの推進
- (2) 各島の個性に応じたまちづくり

6. 基本政策 16

- (1) 産業が輝く笑顔あふれる里の島
- (2) 環境が輝く笑顔あふれる里の島
- (3) 地域が輝く笑顔あふれる里の島
- (4) 教育や文化が輝く笑顔あふれる里の島
- (5) 福祉が輝く笑顔あふれる里の島

7. 島びとが輝くまちづくり重点プロジェクト 23

(1) 「暮らしやすい島」をめざす取り組み

- ① 海上交通の利便性の向上
- ② 安全で安心して暮らせる島づくり
- ③ 明日を担う人材の育成
- ④ 産物の販売促進・販路拡大

(2) 「市民の第二のふるさと」をめざす取り組み

- ① 定住の促進
- ② 里島ツーリズムの推進
- ③ 里島ブランドの確立
- ④ 未利用施設の利活用

1. 愛ランド里島構想の概要

(1) 構想の趣旨

「愛ランド里島構想」は、島びとや行政がまちづくりを進める上での重要な指針として、松山市島しょ部の持続的な発展と活性化を目的に策定しました。

この構想に基づいて、島びとや地域などと行政が協働し、島びとが生き活きと輝き、豊かな心で暮らせる笑顔あふれる里の島づくりに取り組みます。



あいまひじぎ(安居島)

(2) 構想策定の背景

松山市の島しょ部は、豊かな自然や悠久の歴史に育まれた文化など、魅力ある地域資源が数多く残っている地域です。

しかしながら近年では、島の基幹産業である柑橘栽培や漁業の低迷など産業の不振と相まって、過疎化・高齢化が急速に進んでいます。

このような中、平成22年度に島しょ部の活性化を目的とした「松山島博覧会」(しまはく)が開催され、多くのお客様に島の魅力を体感していただいたほか、島びとが「活力ある島づくり」に取り組む動機づけにつながりました。

こうした経緯を背景として、島しょ部の持続的な発展を図ることを目的として「愛ランド里島構想」を策定することとなりました。



(3) 構想策定のコンセプト

「愛ランド里島構想」は、島の暮らしやすさの向上はもとより、島を訪れた方にもその魅力を味わっていただき、島外の住民にも島を第二の「ふるさと」と感じていただけるように、「暮らしやすい島、市民の第二のふるさと～あるがままの心地良さ～」をコンセプトとして策定しています。

(4) 対象期間

「愛ランド里島構想」は、平成24年度から平成33年度までの10年間を対象期間として策定しています。



みかんもぎ(秦ノ山から中島港を望む)〈たなかあつし氏作〉

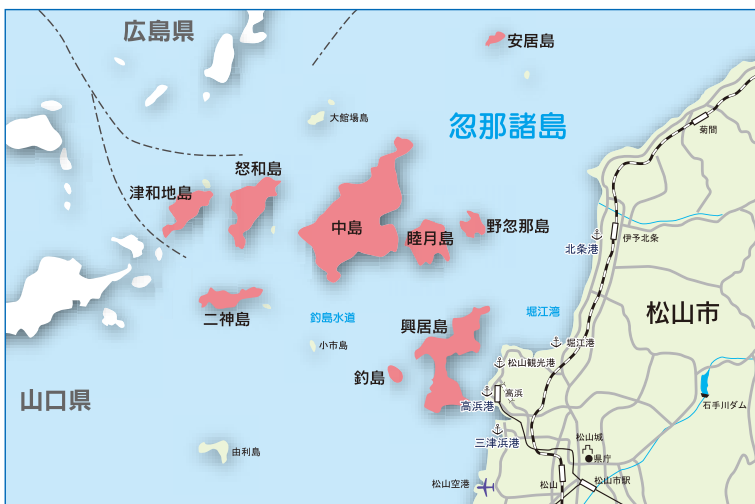
2. 島しょ部の状況

(1) 地勢・気候

松山市の島しょ部は、有人9島（興居島、釣島、睦月島、野忽那島、中島、怒和島、津和地島、二神島、安居島）と多数の無人島で構成されています。全島とも急峻な地形を有しており平野部が少なく、海岸沿いの平地に集落が広がっています。

瀬戸内海特有の温暖で雨が少なく日照時間の長い、柑橘栽培に適した気候条件を有しています。

○島しょ部の位置図と各島の面積



島名	面積 (km ²)	人口 (人)
興居島	8.49	1,279
釣島	0.36	70
睦月島	3.83	276
野忽那島	0.92	141
中島	21.17	3,213
怒和島	4.81	446
津和地島	2.88	383
二神島	2.15	166
安居島	0.26	24
合計	44.87	5,998

(面積:平成22年全国都道府県市区町村別面積調など、人口:平成22年国勢調査)

(2) 交通

①海上交通

(航路図)

